

日本学生科学賞中央表彰式

1年生 浴井 遥(はるか)さん 入選二等

1月24日 日本科学未来館(東京)



日本学生科学賞の中央審査で「水底の影で見るアメンボの行動」が入選二等に輝いた。1年生の浴井さんは「来年はもっと深く調べて応募したい」と話している。

海外研修(マレーシア)

本年度は27名の1年生が参加しました。平成28年1月4日(月)から1月9日(土)まで5泊6日の日程で実施しました。

■鍾乳洞探索

バツ洞窟を見学した後、およそ1時間のダークケーブツアーに参加しました。専属ガイドによる英語の説明を受けながら、洞窟内の歴史、生息する生き物、洞窟の生成過程等を学びました。この洞窟固有の生き物も目の当たりにすることができました。



■バードパーク、バタフライパーク見学

クアラルンプールのレイクガーデン内にあるKLバードパークとバタフライパークを見学しました。ごく自然に近い状態で、国内外から集められた約5000羽の鳥(バードパーク)、珍しい蝶(バタフライパーク)が園内を歩いたり、飛び交っていたりしています。標本なども飾られており、生徒たちはじっくりと観察していました。

■マラヤ大学附設植物園見学

「Rimba Ilmu」-マレー語で「知識の森」と呼ばれるマラヤ大学附設の約80ヘクタールに及ぶ熱帯植物園を見学しました。大学教員から熱帯雨林気候下で生育する植物や、熱帯の自然環境との関係等について英語で説明を受け、多くの生徒たちが熱心に英語で質問しました。

■マラ工科大学授業参加

マラ工科大学国際教育カレッジ日本高専予備教育コース(KTJ)を訪問し、現地学生とともに英語による数学、化学、物理の授業を受講しました(物理は一部実験も実施)。グループワーク中心に授業が進められ、現地学生と熱心に議論しながら解答を導き出していました。夕食後、学生との交流会を通して、友好を深めました。



■九工大マレーシアキャンパス(MSSC)訪問

九州工業大学マレーシア校(MSSC)で、午前中は白井教授による講義を通して「再生可能エネルギーの未来」などについて学びました。午後はグループ別に現地の学部生、大学院生の協力を得ながら、「環境」をテーマにしたプレゼンテーション(英語)を準備した後、参加者先生方の前で実演し、コメントやフィードバックをいただきました。

■ムザファ・シャー科学中等教育学校訪問

マラッカ市内の中等教育学校を訪問し、昨日のプレゼンテーションを現地生徒に向けて行いました。その後、日本とマレーシアの環境に対する意識の相違、日本の環境に対する取組、自分たちにこれから何ができるかなどについてディスカッションを実施しました。



■マラッカ動物園見学

合計215種1200頭以上の動物が飼育されているマラッカ動物園を訪問しました。マレーシアで二番目に大きい動物園で、多くの鳥、両生類、爬虫類、哺乳類、昆虫などが飼育されています。生徒たちは熱心に観察しました。

マレーシア研修の報告は3月15日のSSH活動報告会で口頭・ポスター発表を行います。